

今月の Jujo News はピアスの作り方 ( ガラスの磨き方～金具の付け方まで ) を詳しくお伝えします。特に今回はフュージングをしないで、接着やガラスを削って作る方法を写真で分かりやすく説明していきます。

写真①～③は SNS(instagram) でアップしているピアスやネックレスです。基本的にこれらの物は、一度 820℃で焼成した後、ルーターや研磨機を使って仕上げています。最近はこのようなリング型のアクセサリーをよく作っています。

今回は、焼成しなくてもできるピアスの作り方をご提案いたします。



写真①



写真②



写真③



写真④

今回のニュースの作品の写真です。2種類作ってみました。

一つは ( 写真④ )、ガラスをカットした物をハンディルーターで穴を開け、削って磨いた物。

もう一つ ( 写真⑤ ) はカットしたガラスに穴を開けて接着をして、接着が乾いてから削って磨いた物。



写真⑤

誌面の関係上、今回は写真④のピアスの作り方のみをご紹介します。

写真⑤の方は十條ホームページのテクニカルサポートで紹介いたします。

<https://www.jujo.net/glass/movie/#h2> をご参照ください。

他にもアクセサリーパーツの取り付け方や、フュージングの焼成の詳しい方法など情報がいっぱいです。ぜひご覧ください。

### 【作り方】

①ガラスを 1.5cm 角にカットします。

②穴を開ける箇所に油性の細いペンで印をつけます。

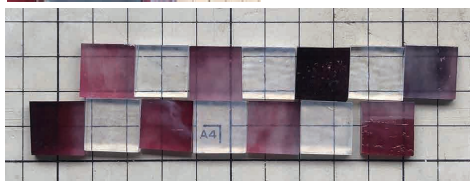
穴あけにはドレメル MICRO( 品番 81098 ) を使いました。

コードレスでありながらパワフルなミニルーターです。

簡単に穴を開けることができお勧めです！

全てのガラスに穴を開けていきます。穴あけのダイヤの径は 1.1mm

( 穴あけダイヤ 1.1mm 品番 81140 ) を使用しました。



③穴を開けたら、個々のガラスを適当な大きさに削っていきます。

形やサイズはあえてバラバラにしました。今回のピアスはカットガラスを 7 枚使っています。それぞれの中心辺りに穴を開けていきます。

削る作業は、クイックフィットパッドビット ( 品番 80400 ) を使用しました。お持ちのルーターに取り付けて平面的にガラスの削り&磨きができる優れ物です。

裏面へつづく→

表面からの続き→



クイックフィットパッドビットは2" (約5cm) と小さいですが、今回のプロジェクトにはぴったりです。パッドビットと5種類のパッドで荒削り～磨きまでできます。

フェルトで最終磨きをする際は コロイダルセリア (品番 13117) を別にご購入ください。

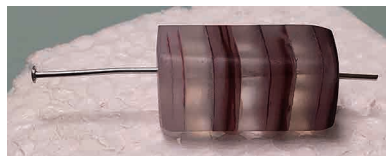


ちなみに今回はガラスをマットな感じに仕上げる為、#800 までの磨きとしました。削ったガラスは失くさないように発泡スチロールにTピンなどを刺して、その中通しておくの良いです。小さなピースなので、落とすと探すのが大変です。



④ ガラスの削り・磨きが終わったら、金具の取り付けにかかります。ピアスの金具はチタンピアス横カン付き (品番 25125) を使用しました。写真は一個で写ってますが、実際はペア (2個入り) 売りです。

⑤ 次にTピンとピアスの金具の接続について、写真で順を追ってご説明します。写真は接着のピアス (表面写真⑤) を使っています。



Tピン 先端部分を6~7mmほど出しておく



先端を90度に曲げます



細いプライヤーで先端を少しずつ丸めていきます



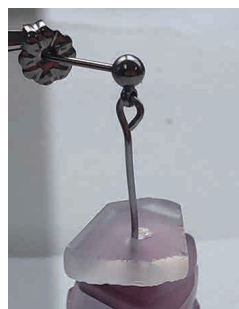
?マークをイメージして丸めます



完全に丸めます



ピンが真っ直ぐになるように微調整をします



ピアス金具の丸カンに丸めたTピンの先端を通して完成です (カンにTピンを通す時は、閉じた丸をいったん少し開きカンに通したらもう一度閉じます)



完成!



耳に着けるとこんな感じです。涼しげで夏向きですね